

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成25年度病害虫防除情報第10号

ハスモンヨトウ等チョウ目害虫の発生状況についてお知らせします。
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

県内各地のフェロモントラップで、ハスモンヨトウ・タバコガ類の誘殺数が増加しています。

今後、大豆、野菜・花き類で被害が予想されますので、適期防除に努めてください。

1 作物名 大豆、野菜・花き類全般

2 病害虫名 チョウ目（鱗翅目）害虫

3 発生状況（経過）

- 1) 県内4か所(国富、西都、都城、佐土原)に設置しているハスモンヨトウのフェロモントラップへの誘殺が7月下旬以降急増している(図1)。8月第1半旬から第6半旬までの1ヶ月間の合計誘殺数は、国富で1,747頭(平年712頭)、西都で1,738頭(平年878頭)、都城で875頭(平年708頭)、佐土原で1,402頭(平年1,070頭)であり、いずれも平年を上回っている。
- 2) 西都に設置しているタバコガ類のフェロモントラップでは、タバコガ、オオタバコガともに8月中旬から誘殺数が増加している(図2)。8月第6半旬の誘殺数は、タバコガが63頭(平年41頭)オオタバコガが60頭(平年9頭)でいずれも平年を上回っている。
- 3) 8月中旬の巡回調査における大豆でのハスモンヨトウの被害状況は、発生面積率が87.5%(平年75.3%)で平年並、食害度が12.9(平年6.0)で平年よりやや多である。
- 4) 8月中旬の巡回調査におけるカンショでのチョウ目害虫の被害状況は、発生面積率58.3%(平年83.8%)で平年に比べてやや少、被害葉率は9.1%(平年37.6%)で平年に比べて少であるが、ほ場内でナカジロシタバ、スズメガ類、イモキバガ等のチョウ目幼虫が確認されている。
- 5) 県内のいちご苗、サトイモほ場において、チョウ目害虫による食害が多く確認されている(写真1~2)。

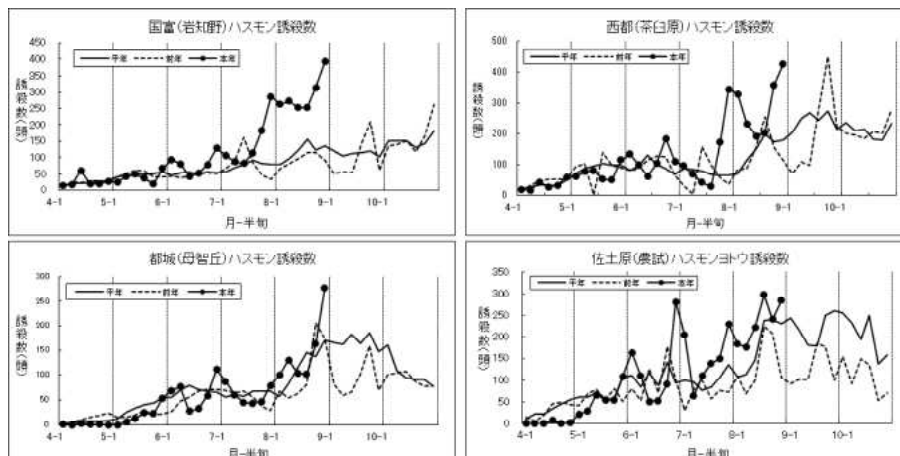


図1 ハスモンヨトウの誘殺状況

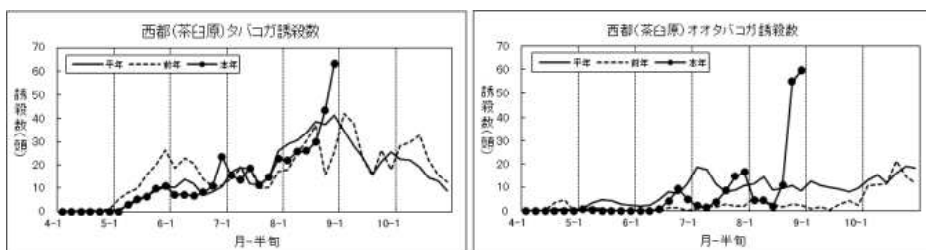


図2 タバコガ類の誘殺状況



写真1 いちご苗の被害状況



写真2 サトイモほ場の被害状況

4 防除上の注意

- 1) ほ場ごとに発生が異なるため、定期的にはほ場を見回り、早期発見に努める。一度防除したほ場でも、成虫が飛来して産卵するので、引き続き発生に注意する。
- 2) 防除適期は、卵塊が葉裏に産卵され、孵化した若齢幼虫が集団となって食害する時期(白変葉期)である。周囲に分散した中・老齢幼虫は、薬剤の効果低下するため、防除適期を失わないよう注意する。
- 3) 虫種や作物により登録及び効果のある薬剤が異なるため、ほ場内で発生する虫種を十分に確認の上薬剤を選定する。
- 4) 雨除け栽培等の施設栽培では、開口部に防虫ネットを設置し成虫の侵入を防ぐ。なお、成虫はネット上などにも産卵し、編み目から孵化幼虫が施設内に侵入するので注意する。
- 5) 次期作付に当たっては、育苗期から防除を徹底し、本ほ施設には防虫ネットを必ず設置し、害虫の侵入を防止する。
- 6) 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる系統薬剤との口 - テ - ション散布に努める。

5 その他

- 1) その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局(農業改良普及センター)、総合農業試験場生物環境部、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

《連絡先》

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 壹岐

TEL : 0985-73-6670 FAX : 0985-73-2127

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp

ホームページ : <http://www.jpnpn.ne.jp/miyazaki>